

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 プライド・ダイナスティ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.500	△RG 0.042	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：プライド・ダイナスティ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離
4 インチ

研磨剤

比較対照ボール：プライド

フレアーの幅 インチ

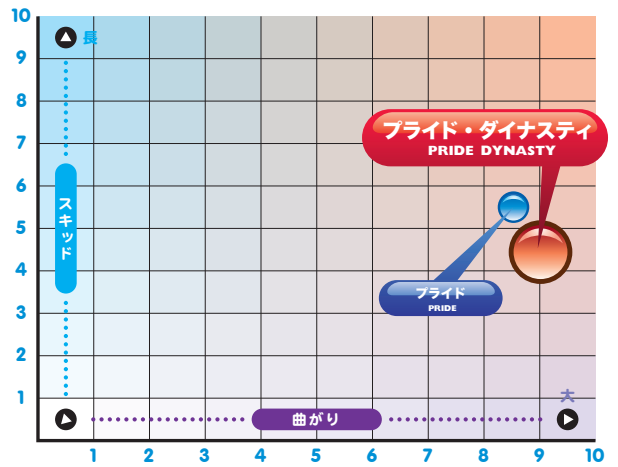
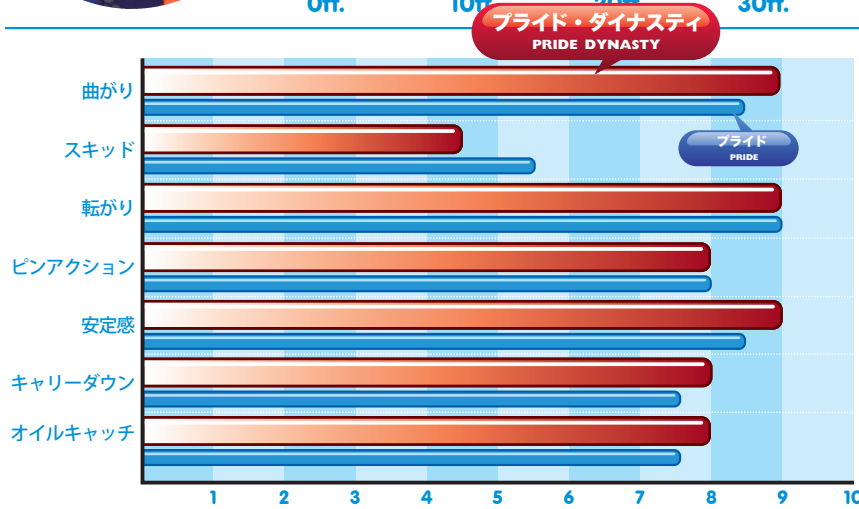
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離
4 インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

PRIDE DYNASTYはPRIDEよりもより強く、よりコントロールしやすい事を目的に設計された、Solid素材の特性を熟知し検証されたボールで、現代のボウリング環境でベンチマークとなることを意識した性能で発売されます。適性コンディションはミディアムオイルですが、多くのオイル量と長さに対応できる性能で、PRIDEよりも確実にグレードアップされています。何と言っても一番の吉報は、採用されているカバーストックがBLACK VENOMと同じLeverage MFS Solid Reactiveだということです。Leverageカバーストックは本来ジャッカランブッシュ用に開発されたもので、この技術はオイルに強く、よりコントロールしやすくなっています。「コントロールしやすい」という表現はここではオイル量に左右されない安定度を表しているもので、曲がりかだったり緩慢に曲がるというイメージでなく、シャープとまではいかないものの、しっかり曲がるイメージがあります。

また、BLACK VENOMで感じた噛み過ぎず、過激な反応は起こさないけれど曲がりもしっかり出るイメージはPRIDE DYNASTYにも見受けられます。リアクションの差はコアによるもので、私は同じカバーでも先の動きを意識するのであれば、PRIDE DYNASTYを選ぶでしょう。

様々なコンディションで投げ比べを行いました。私の場合はミディアムヘビーから下のオイル量が適正に使える感じがします。もう少しボリュームのあるコンディションではブレーキ感に不安定さを感じるのも、箱出しのままであれば、光沢のあるボールの一つ上の位置づけで使われると良いでしょう。

特記事項

PRIDEをワンランク上げた性能で仕上がっており、先の動きを強調させながらオイルに対しての安定度を高めた性能です。